



Rêveur × AMIAYA SPECIAL INTERVIEW

こだわり抜いた10年の歴史。

互いの分野で妥協を許さず走り続けた、AMIAYAとレヴールの共通点

ピンクのヘアスタイルにハイセンスなファッション。そして誰もが目を引く“ツインズ”というキュートなインパクト。現在のファッションシーンにおいて国内は元より世界のラグジュリーブランドからも注目を集めるAMIAYAさん。お二人の活躍ぶりは、近年、一般層にも広がりつつありますが、芸能活動歴は10年以上になります。

長年に亘りファッションの分野で活躍し続けてきた実績と、この度、10年の節目で進化したレヴールとは、実は親和性があり等しい点が多く、今回、ブランドのイメージモデルとして起用させて頂きました。

2010年に発売したレヴールは、ヘアサロンのみで使用されるラグジュアリー商品として注目されていたノンシリコンシャンプーを、業界に先駆け、美を追求するニーズに応え販売するためにはどうすれば良いか。クオリティの高いヘア&ケア商品をドラッグストアで提供するための意識改革をモチベーションに、商品開発が始まりました。

ノンシリコンシャンプーを認知して頂くため「髪をすっぴんに」という分かりやすい商品コンセプト。当時のドラッグストア等のヘアケア商品ではタブーとされていた、透明容器をあえて使用しボトル全体にレリーフを施し、ボトルの魅せ方も工

夫しました。皆様が手に取りやすい価格で店頭販売できるよう、開発に試行錯誤を繰り返しながら完成したのがレヴールです。そして10年目に、約500名の男女の髪に関する調査に基づいて、新レヴールを開発。髪の本来的な美しさを追求し、髪の基礎となるたんぱく質を植物性プロテインで補給する事で、美髪に導く、成分や使用感に徹底的にこだわったレヴールを2020年の9月に新発売しました。この、妥協を許さず頑固なまでこだわり続けているレヴール10年間の歴史と、AMIAYAさんのパーソナルは、実は非常に酷似しています。





「ファッションの分野で活躍したい。それは10代で上京してきてから現在に至るまで、一貫して私たちが持ち続けているこだわりです」(AMIさん)

ファッション誌のストリートスナップから始まり、読者モデルとしては、最も多くの媒体に出演していたAMIAYAさんは、双子と独創性の高いファッションが注目され、活躍の場が徐々に広がっていきました。当時の彼女たちは、芸能事務所には所属せずフリーの状態。それにも関わらず、必然的に媒体社側から声がかかり続けました。自分たちが求められる事に喜び、そしてファッション業界で活躍し続けることを実現するため、お二人で常に考え行動を起こす連続だったそうです。

「スナップ撮影や雑誌のファッション企画で評価して頂くにはどうしたら良いか。コーディネートと自分たちだから出来る魅せ方を常に研究して、2人で話し合いながら決めてきました。若い時は毎日その事で頭がいっぱいで。無我夢中で楽しかったです」(AYAさん)

「同じ家に住んでいますし、仕事も一緒。ライフワーク＝ビジネスワークでしたから、24時間、ファッションにどっぷり浸かっている状態です。私たちにとっては、それが当たり前のことになっていて、今も続けられているということは、きっとファッションという分野が本当に好きなんだと思います」(AMIさん)

それを第三者が“努力の賜物”という言葉で表現してしまうと簡単な事ですが、お二人からのお話を聞いていると、そのような印象は微塵も感じられません。当然、お二人しか経験していない苦悩や葛藤などたくさんあったと思いますが、それを超える興味と向上心が、常に2人の原動力や楽しみとなり、自然と周囲からの共感と評価を得ているのだと思います。

その後、人気読者モデルだったお二人は、ブランドディレクター、アーティストへの進化が始まりました。読者モデルがアパレルブランドをゼロから立ち上げるパイオニアは、実はAMIAYAさんです。特筆すべきは、そのブランドが現在もアパレル業界の第一線で支持され続けている人気ブランドで

ある事です。

「2009年に、私たちがディレクターとなり『jouetie』はスタートしました。奇遇ですけど、レヴールさんと同じ頃ですね。当時、私たちの活動を評価してくれ、ブランドディレクターに抜擢していただいた事には今も変わらず感謝しています。それまで、自分たちのこだわり、自分たちの魅せ方に集中してきた意識を、『jouetie』で働くことによって、興味の幅を広げる必要があることを学びました」(AYAさん)

「商品を多くのお客様の元に提供し喜んで頂く。そのためには、自分たちのこだわりのみではいけないし、こだわりを捨ててもいけない。きっと、その明確な答えというのは存在していないから、毎日、考えに考えて、その時のベストを選択して行動を起こす。その毎日が、今も変わらず続けていられることは、本当に幸せなことです」(AMIさん)



モデル活動に加え、アパレルブランドのディレクター業務をこなす日々。まさにファッション漬けの毎日だったそうです。それでも興味と成長したい欲求は止まらず、上京時の夢だったアーティスト活動をするため、お二人は大手音楽メーカーに所属しました。

「事務所の都合などもあり、活動自体は4年くらいでしたが、本当に楽しかった。それはモデルとして表舞台に出る事とは、また別の楽しみでした。大勢のお客さんの前でライブやDJを行い、みんなと一緒に楽しむ時間。誰でも出来る経験ではないとわかっていたから、とても大切にしていました。何よりも、私たちのことを好きと言ってくれるお客様たちと直に会えて、その反応が実感出来る瞬間は、何事にも変えがたい充実感でした」(AYAさん)

そして実は、このアーティスト活動の時期に、現在の活躍に繋がる大きな経験をしたと言います。

「海外でのライブ公演で大きな刺激を受けたことを今でも忘れられません。それはまさに異色の世界。想像をはるかに超

えた、私たちの目の前に広がる光景は、これから私たちが進むべき道を明確にしてくれました。同時に、興味の幅が海外ファッションシーンへと広がりました」(AMIさん)

「現在の事務所に入った頃から、国内ブランドのパーティに積極的に顔を出すようになり、時にはパーティ会場のDJもやらせて頂きました。そうすることで人脈が広がり、それまで知らなかった知識がどんどん身についていきました。イタリアのミラノで開催されたファッションショーにご招待頂き、さらに刺激を受けました」(AYAさん)

その帰路、飛行機の中で観たある映画が、お二人の進化に、さらに拍車をかける事になったそうです。

「海外での経験と興奮がまだ冷めない状態で、機内でたまたま上映されていた『ミス・ペレグリンと奇妙な子どもたち』。この映画を観た時、私たちのような双子が演じているシーンがとて印象的で、自分たちのこれからの魅せ方、私たちにしかできない活動のヒントになりました。2人で決めて、2人で即行動を起こしました」(AMIさん)

それまでのAMIAYAさんは、双子だから、どちらがAMIさんでAYAさんかを分かりやすくする魅せ方を意識していたそうです。しかし、その真逆となる、全く同じヘアスタイルとカラー。ピンクというインパクト抜群の現在の容姿は、この時を機に確立させたと話してくれました。

「そこからは、もう迷いなど生まれず、ただひたすら自分らしさをアピールしていく。その反応は、私たちが想像していた以上の評価に変わり、今現在の活動の主軸になっていることは、とても嬉しいことです」(AYAさん)



驚くほどの速度で、ラグジュアリーブランドからの仕事や、世界的に有名なファッション誌の出演依頼が殺到。海外での活躍ぶりが先行する形で国内のファッション業界へも浸透し、今では日本を代表する、唯一無二のファッションアイコンとしての地位を築かれました。



「レヴールさんの開発秘話から、リニューアルを続け進化させることを止めず、10年の節目で新レヴールが発売されたお話を伺って、私たちの10年とすごく似ているなあと思いました。このタイミングで、このようにお仕事でご一緒させて頂けたのは、何かの縁かもしれませんね。『jouetie』も来年10周年を迎えますし」(AYAさん)

「今の私たちを、支持してくださり、ヘアケア商品を扱う日本のメーカー様から、今回のようなお仕事をご依頼くださった事は、とても嬉しいですし、光栄に思います。レヴールさんの外見のビジュアルと、芯のある中身、高品質へのこだわりはとても共感できます。カラーをしているどうしても髪は痛みがちですけど、レヴールのおかげで私たちも綺麗なヘアスタイルを維持できています」(AMIさん)

今後の展望を伺うと、2人にはゴールは存在しないと言います。今の夢は、いつしか、モデルやブランドディレクターという肩書きではなく、AMIAYAという日本人ツインズが、ファッションシーンに常に存在している形容詞でありたいと、瓜二つのお二人は声を揃えて嬉しそうに話してくれました。

本物は、自然と支持をされ評価をされる。そのために妥協せずこだわり続け、考えて考えて、それを楽しむ。レヴールもAMIAYAさんと同様、ヘア&ケア分野での形容詞になれるよう、成長を止めず、多くの女性に支持されるブランドであり続けたいと思います。



PROFILE

AMIAYA (あみあや)

PINKツインズユニット。モデル・DJ・「jouetie」クリエイティブディレクターといくつもの顔を持ち、世界中を駆け巡るTOKYOを代表するファッションアイコン。モード誌をはじめ、ブランドのキャンペーンや広告、ファッションショーのフロントローと、世界を舞台に活躍中。